



中村理事長（左）が菅野校長に資機材を手渡した

宇管工が実習資材を寄贈

宇工生の技術研さんに寄与

宇都宮市管工事業協同組合（中村勝理事長）は14日、県立宇都宮工業高校に建築配管技能検定などの実習用資機材約81万円相当を寄贈した。中村理事長、川俣浩専務理事、西村理憲事業課長が訪れ、管工事実習中の2年生が見守るなか菅野光広校長に資材を手渡しした。寄贈は今年で11回目となる。

中村理事長は「将来を考へて資格を取ることは素晴らしいこと。資機材を使って資格取得に向けて頑張っただけでほしい」とエールを送った。

菅野校長は「資機材提供のおかげで歴代の先輩たちも資格取得や技能五輪の金賞受賞など素晴らしい成果を上げている」と感謝の言葉を述べ、生徒に「資機材を大切に使用して腕を磨いていこう」と呼び掛けた。

宇管工では、高校生の技能向上を図るため管材や管継手など実習用資機材一式を寄付。資材は2、3級技能試験を受験する生徒や技能五輪に挑戦する生徒の実

習で利用。今年は建築配管技能検定2級を3年生5人、3級を2年生15人が受験する。